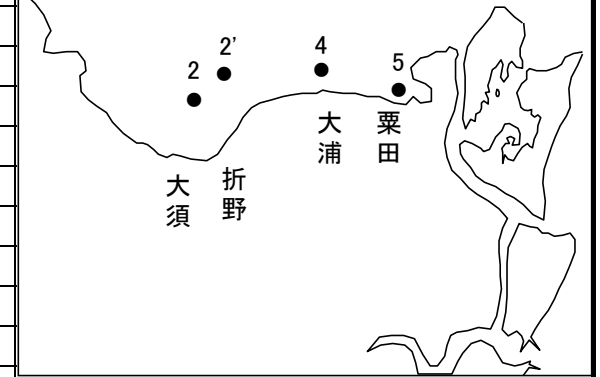


令和6年度 北灘 広域共同調査（1月6日調査）徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分	透明度 (m)	DO (mg/L)	細胞/L		細胞/mL	
							コシノディスカス ワイレシー	コシノディスカス spp.	ユーカンピア ゾディアクス	ノクチルカ シンチランス
2	09:41	0-5			9.5		-	-	-	
		0	10.74	31.10		8.6				
		1	11.03	31.68		8.5	-	-	-	
		5	11.58	31.96		8.6	-	-	-	
		10	11.62	31.96		8.7	-	10	-	
		15	11.68	31.97		8.7				
		20	11.78	32.01		8.5				
		B-1	11.78	32.02		8.5	10	-	-	
2'	9:45	0								250.0
4	09:14	0-5			14.3		20	-	0.21	
		0	11.67	32.01		8.6	-	-	0.57	
		1	11.71	32.00		8.7	-	-	0.22	
		5	11.81	32.09		8.7	-	10	-	
		10	11.85	32.10		8.7	10	30	0.07	
		15	12.07	32.17		8.5				
		20	12.25	32.26		8.4	10	-	0.74	
		25	12.30	32.27		8.3				
		30	12.29	32.27		8.3	-	10	-	
		35	12.29	32.28		8.3				
		40	12.30	32.28		8.3				
		B-1	12.30	32.28		8.3	10	10	0.51	
5	10:14	0-5			9.4		-	-	-	
		0	11.78	24.33		9.0				
		1	11.94	24.22		9.0	-	-	-	
		5	11.96	23.81		9.0	-	-	0.02	
		10	11.97	32.14		8.5	-	-	-	
		15	12.00	32.17		8.5				
		20	12.14	32.22		8.4				
		25	12.25	32.25		8.4				
		30	12.45	32.34		8.3				
		B-1	12.45	32.34		8.3	10	-	-	



備考

・藻類を色落ちさせる珪藻について、コシノディスカス属及びはユーカンピア属は前回調査時と同程度でした。

・St.2'でノクチルカ シンチランス(通称ヤコウチュウ)の集積による海面の着色が見られました。本種は基本的に無害とされていますが、高密度化している海域を航行した場合には、活け間の蓄養魚が弱る可能性があります。
航行の際は、海面の着色域に注意してください。

・珪藻はリゾソレニア属主体で低密度でした。
珪藻細胞数 St.4(0-5m): 20cells/ml